



# YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

2014号

会 長	北砂明彦	会長エレクト	阿萬正巳	事 務 所	大和市大和南 2 丁目 1 番 1 号
副 会 長	石川健次	幹 事	野口 宏		大和中央ビル 301
プログラム・	橋本日吉	鈴木洋子	肥田 昭		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
クラブ会報担当	辻 彰彦	板垣克浩			E-mail : naka-office@ynrc.jp
例 会 場	きらぼし銀行	大和支店 4F (毎週木曜日)			URL : http://www.ynrc.jp

## 国際ロータリーテーマ

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

「ロータリーは機会の扉を開く」

RI会長 ホルガー・クナーク

## 大和中ロータリークラブ会長ターゲット

「会える喜び、楽しみ、笑顔を広げよう」

【本日のプログラム】 4月1日 卓話 「保育・共育・楽育が親子と笑顔を育む」 福島 哲 様

【次回予告】 4月8日 卓話 「俳句の楽しみ方を学ぶ」 今関 十三里 様

【第2007回例会】 令和3年3月25日(木) 【司会SAA】 鈴木 洋子 君

【斉唱】 「君が代」「それでこそロータリー」 【ソングリーダー】 向井 嘉男 君

【ゲスト】 吉村 和就 様、栗谷 秀美 様、関明月 様

## 会長の時間 北砂 明彦 会長

本日は元国連経済社会局環境審議官であられました、吉村和就様をお迎えして「世界と日本の水事情 地球温暖化と水問題」について卓話いただきます。ロータリーの優先活動の中の重点分野、「平和の推進、疾病との闘い、きれいな水の提供、母子の健康、教育の支援、自持ち経済の成長、環境保護」とあります。https://www.rotary.org/ja/our-causes

今日の卓話に我々のやらなくてはならない事や気づきが入っているかもしれません。是非自分たちには何が出来るのだろうかという気持ちで拝聴したいと思います。

### 報告事項

○2020年度IMIについては、2021年2月23日大和RCさんにより大和市文化芸術施設シリウスにて無観客で「地域の絆で、奉仕の輪を広げる」をテーマに行われました。当日の様子は録画にとり、後日YouTube及びホームページで公開するとともに団体紹介の冊子が配布されるとの事です。変更に伴い余剰金が発生した場合は各クラブに返金の予定との事です。

○座間RC創立50周年記念式典について昨年2月から終息の見通しが立たない状況でやむを得なく中

止となりました。その他理事会・役員会の報告など。「人々が安全な水を持続的に利用できるようにするためにロータリーが新たな方法で挑む

安全な水、衛生施設や衛生リソースの不足は、世界で最も大きな保健問題の一つです。これはまた、解決が最も難しい問題でもあります。ロータリーはこれまで何十年にもわたり、井戸を掘り、配管工事を行い、浄水設備を整え、流し台やトイレを設置するなどして、人びとが安全な水を利用できるよう支援してきました。しかし最大の課題は、このような設備が整えられた後にあります。それは、はじめにプロジェクトが成功してもゆくゆくは失敗に終わるケースゆくゆくは失敗に終わるケースが頻繁にあるからです。コンサルティング会社「Improve International」社が集めたデータによると、サハラ以南のアフリカだけでも、機能不全となった水道システムに関連する費用の累計額は、さまざまな団体を合わせて12億~15億ドルに上ると推定されています。これまで井戸の設置に重点的に取り組んできたロータリーのプロジェクトは、その焦点をより効果の高い衛生教育プロジェクトに変えました。

ロータリー財団のグローバル補助金、ロータリアン行動グループ、米国国際開発庁(USAID)とのパートナーシップによって、ロータリーの水と衛生プログラムである「WASHプログラム」は、より効果的で持続的な

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 6名(敬称略)
27名	20名	76.92%	76.92%	1名	原嶋、池澤、小柳、新村、苗加、富澤

変化をもたらしています。「ロータリーの水と衛生プロジェクトはどれも、思いやりと善意で実施されていますが、その多くが地域社会の実際のニーズに応えていなかったのです」と語るのは、「水と衛生のためのロータリアン行動グループ」の創設者で名誉会長のF.ロナルド・デンハムさんです。2007年に結成された同グループは、ニーズと持続可能性を重視しています。

過去には、設備や施設が適切に設置され、人びとからも良い反応がありましたが、地元住民の当事者意識、教育、持続可能性が欠けていたことがありました。また多くの場合、地域社会が自立して長期的にプロジェクトを管理するのに十分な支援がありませんでした。持続可能性の障壁の一つは、人的支援への継続的なニーズです。

ロータリー会員は、もともとボランティアです。「誰でも同じように、ロータリアンにも仕事や家族という優先があります」とデンハムさん。デンハムさんはこれまで30年以上、クラブと協力して水と衛生の問題に取り組み、エチオピア、ガーナ、インド、ケニア、ウガンダでプロジェクトを指揮してきました。また、地元の改善に取り組むロータリー会員について次のように話しています。「プロジェクト実施地側のクラブにとって、例えば、長期間WASHプロジェクトを管理するのは大変です。これは、複雑な技術的要素が必要とされるときに特に当てはまります。「私たちは力を尽くしていますが、援助を必要としています。成功には、外部に支援を求めることが不可欠です」

#### 地域社会のかかわりと当事者意識

今日、プロジェクト成功のカギは、補助的なリソース、資金、技術、人脈、文化に関する知識といった専門知識を提供する団体との協力にかかっています。

「クラブは、地域社会とそのリーダーや専門団体と密着して活動する必要がある」とデンハムさん。「またさらに重要なのは、地域社会のニーズを理解することです。地域社会に何が必要なのかを憶測で判断してはなりません」

ロータリー財団は長年の活動を通じて、長期的な変化をもたらすには地域社会の関わりが極めて重要であることを学びました。現在、他国で実施する一部のプロジェクトでは、補助金を申請するクラブに対し、プロジェクトの計画に地元住民が関わったことを証明することを義務づけています。取り組む課題を選び、地元で利用可能なリソースや解決策を判断し、長期的な管理計画を作成するには、地域社会の参加が必要とされます。いずれ地域社会の人びとが自力で継続していなければならない、そのプロジェクトは成功したとは言えない、とデンハムさんは話します。

2010年、デンハムさんの所属クラブ、トロント・エグ

リントン・ロータリークラブ(カナダ、オンタリオ州)は、安全な水が不足するケニアの大地溝帯での水と衛生プログラムの主要な援助国側パートナーとなりました。

計画段階における地下水の試験で高いレベルのフッ化物が計測されると、援助国のクラブは計画を変更し、浅い掘削孔を掘ることにしました。これまでの経験から、雨水を貯水する方がより安全な方法だとわかったからです。

実施国側のクラブ、ナクル・ロータリークラブ(ケニア)は現在、各家庭で1万リットルの貯水タンクを設置するための資材を提供し、その設置方法を教えています。その作業と管理を行うのは各家庭です。50ドルの投資で、家族が乾季を乗り切るのに十分な水を貯めることが可能となります。現在までに、このプロジェクトを通じて3千基以上の貯水タンクの設置に資金が提供され、およそ28,000人が安全な水を利用できるようになりました。これまでは、家族の誰か(その多くは女性や子供)が水をくむために1日に何キロも歩かなければなりませんでした。もうその必要はありません。貯水タンクを所有した女性たちは、新しい家庭の姿を思い描けるようになりました。また、ロータリークラブを通じて利用している小口融資のおかげで、母親たちは水くみではなく、小事業を営み、収入を得られるようになりました。「貯水タンクは、母親だけでなく子供たちにも自由をもたらしました。今では、子供たちは学校に行く時間の余裕ができました」とデンハムさんは説明します。

#### 水と衛生に関する教育指導

衛生施設の設置だけでは、WASHプロジェクトの長期的な成功は望めません。健康的な習慣を定着させることも重要です。適切な衛生習慣によって、コレラ、赤痢、肺炎などの病気を50パーセント近く減らすことができます。石鹸を使った手洗いだけで命を救うことができるのです。

国連によると、45億人以上が安全なトイレを持たずに生活しています。トイレを利用できないことは、病気や、女子生徒の学校の不登校につながります。ガーナでは、ロータリーとUSAIDの学校でのプロジェクトによって、病気や生理による不登校の日数が減りました。

オーストラリア、ビクトリア州のボックスヒルセントラル・ロータリークラブは、インドやエチオピアを含む発展途上国の学校にトイレを設置し、水と衛生に関する教育を行うプログラム「Operation Toilets(トイレ活動)」を実施しています。プログラムでは、プライバシーを守るために、男子用と女子用の別々のトイレを作るとともに、石鹸を使った手洗いの方法を生徒に教えています。また、各学校の管理人に施設の管理方法を指

導しています。このプログラムは、水と衛生に関するニーズへの認識向上と、地域社会への教育を推進する支援団体「We Can't Wait」と協力して行われています。2015年にプロジェクトが開始されて以来、およそ90校の学校と96,000人以上の生徒が直接的な恩恵を受けました。

水と衛生に関する教育のもう一つの成功例は、マレーシアのプチョン・センテナル・ロータリークラブがフィリピンのインターアクトクラブとローターアクトクラブと協力して、フィリピンのランパラの複数の学校で行った教育指導です。この活動では、数名のインストラクターを迎え、口腔衛生、手洗い、頻繁に体を洗うことの大切さについて生徒を指導しました。生徒には、歯ブラシ、シャンプー、石鹸、くし、その他の洗面用品が配られました。

#### 10年間にわたる持続可能なWASHプログラム

今年度、ロータリーとUSAIDのパートナーシップが開始されてから10年を迎えます。このパートナーシップでは、地域社会とリソースが結集され、発展途上国での安全な水の提供、衛生施設の整備、衛生教育への取り組みが行われてきました。世界で最大の政府の援助機関であるUSAIDとロータリーがもたらす力は明らかです。ロータリーは、資金調達のために世界的なネットワークを動かし、ボランティアを集め、施設の建設を監督します。一方USAIDは、活動の計画と実施に技術的支援を提供し、システムを運営・管理する地元団体の能力向上を担当します。ロータリーとUSAIDの教育プログラムでは、効果的な手洗い方法をガーナの生徒に教えています。このパートナーシップの結成当時から活動拠点となっているガーナでは、6つの地域にある35のロータリークラブが、2020年までに200件以上の持続可能なWASHプログラムを実施する予定です。

ロータリー財団専門家グループのメンバー、フレドリック・ムヨディさんとアラスデア・マクリオドさんは昨年9月、プログラムの成果と継続的な課題について評価を行うために、30のプログラム実施地を訪問しました。モニフィース・アンド・ディストリクト・ロータリークラブ（スコットランド、テーサイド州）の会員マクラウドさんは、その視察中に見た教育活動に感銘を受けました。訪れた学校のほとんどで、水と衛生の専門教育者をそろえるなど、水と衛生に関する指導が教育の一環となっていました。また、水と衛生の教育者と生徒たちが、手洗いの大切さを訴えるポスターを作り、配布している例もありました。「長期的なプロジェクトは、若い世代とともに始めなければなりません」とマクラウドさん。生徒たちがいずれは教える立場となり、各家庭と地域社会で変化をもたらすことができる、とマクラウドさん

んは加えます。

別の視察では、安全面など予期していなかった課題が明らかになりました。例えば、地域社会にはない衛生用品が学校に備えられると、不法侵入や破壊行為のリスクが高まります。このようなリスクは、周りの地域社会が関与することで減らすことができると、カンパラシティ・マケレレ・ロータリークラブ（ウガンダ）の会員ムヨディさんは話します。

プロジェクト実施地への距離も、時に課題となります。実施地が遠すぎると、クラブが定期的に現地視察をするのが難しくなるからです。このような課題には、地元住民との関係を築き、地域社会と地区レベルのリーダーとのつながりを強める必要があると、ムヨディさんは話します。

ロータリー／USAID 運営委員会のメンバーであるデンハムさんは、ガーナでのこの提携活動の成果は、協力団体との連絡に「WhatsApp」を使ったり、常勤のスタッフを雇うなど、活動の手配とコミュニケーションが効果的に行われたおかげであると言います。水と衛生の分野で官民が協力するこの画期的なパートナーシップは、現在、第二段階に入り、ガーナ、マダガスカル、ウガンダでのプロジェクトに当てる400万ドルが確保されています。さらに、これらの国のロータリークラブが200,000ドルを集めることになっています。「ロータリーは、社会的・経済的な開発に寄与している」とデンハムさん。「WASHプログラムでの活動がその証拠となるでしょう」記事 Ryan Hyland



<https://rotary.org/ja/rotary-water-programs-shift-focus-education-and-sustainability>

## 委員会報告

### 【お祝いの方々】

親睦活動委員会

阿萬 正巳 副委員長

会員誕生日 長野 俊八 君

1月21日

## 卓 話

「世界と日本の水事情」

～地球温暖化と水問題～

グローバルウォーター・ジャパン代表 吉村和就 様  
 国連テクニカルアドバイザー（元国連本部経済社会  
 局環境審議官）

水の安全保障戦略機構 技術普及委員長、日本水  
 フォーラム理事  
 秋田県人会東京大雄会 会  
 長 栗谷 秀美 様



	富澤 克司 君	1月28日
	石川 健次 君	2月2日
	高橋 清 君	2月12日
	池澤 利男 君	2月13日
	入江 公敏 君	2月14日
	新村 千成 君	3月29日
配偶者誕生日	中村富美子 夫人	1月19日
	橋本 誠子 夫	1月24日
	高橋田鶴子 夫人	3月21日
	阿萬真美子 夫人	3月27日
結婚記念日	肥田 昭 君	1月18日
	竹野 国敏 君	2月14日
	石川 健次 君	2月20日
	池澤 利男 君	3月3日
創業記念日	高橋 政勝 君	2月1日
入会記念日	苗加 真敬 君	1月23日
	石川 達男 君	3月1日
	岸 幸博 君	3月4日
	橋本 日吉 君	3月15日
	小柳 智裕 君	3月28日

スマイルボックス 石川 達男 委員長 本日 ￥18,000 累計 ￥310,000

北砂 明彦 会長、野口 宏 幹事

皆様お久しぶりです。再開できたこと、大変嬉しく  
 思います。充実した例会となる様よろしく願いま  
 す。

後藤 定毅 君

皆さん、しばらくぶりです。でも元気でお会いでき  
 て何よりでした。コロナに打ち勝ってロータリーを楽し  
 ましょう。

竹野 国敏 君

結婚記念のお祝いをいただき、ありがとうございます。

長野 俊八 君

誕生日のお祝いありがとうございます。

石川 健次 君

68歳になりました。お祝いありがとうございます。結  
 婚記念日も。

肥田 昭 君

お久しぶりです。皆様の体調変わらずお会いでき  
 るのが幸栄です。これから通常に続けていけることが楽  
 しみです。結婚記念日誠にありがとうございます。

高橋 清 君

①家内の誕生日のお祝いに素敵なお花を頂き、あ  
 りがありがとうございます。

②誕生日のお祝い頂きましてありがとうございます。

中村 友彦 君

皆様、ご無沙汰しております。妻の誕生日のお祝  
 いを頂きありがとうございます。

阿萬 正巳 君

皆様、お久しぶりです。直接お会いできるのは楽  
 いですね。妻の誕生日のお祝いありがとうございます。

岸 幸博 君

入会を祝っていただき、ありがとうございます。

高橋 政勝 君

久しぶりの例会です。よろしく。創業記念のお祝  
 いありがとうございます。

橋本 日吉 君

①女房の誕生日を祝って頂き、ありがとうございます  
 ました。また入会記念日ありがとうございます。

②吉村和就様、栗谷秀美様、お忙しい中、ようこそ  
 お出で頂きました。本日の卓話楽しみにしてしま  
 す。よろしく願います。

入江 公敏 君

誕生日のお祝いありがとうございます。

石川 達男 君

コロナ感染による緊急事態宣言の解除後の初め  
 ての例会です。吉村様よろしく願います。